1201100594822

禁電子式複写

雑 53
52

新聞聯合　寫眞ニュース　第一號

十年一月一日

◎「元旦初詣に賑ふ明治神宮」

新聞聯合　寫眞ニユース　第二號

十年一月一日

◎「お正月で賑ふ淺草六區」

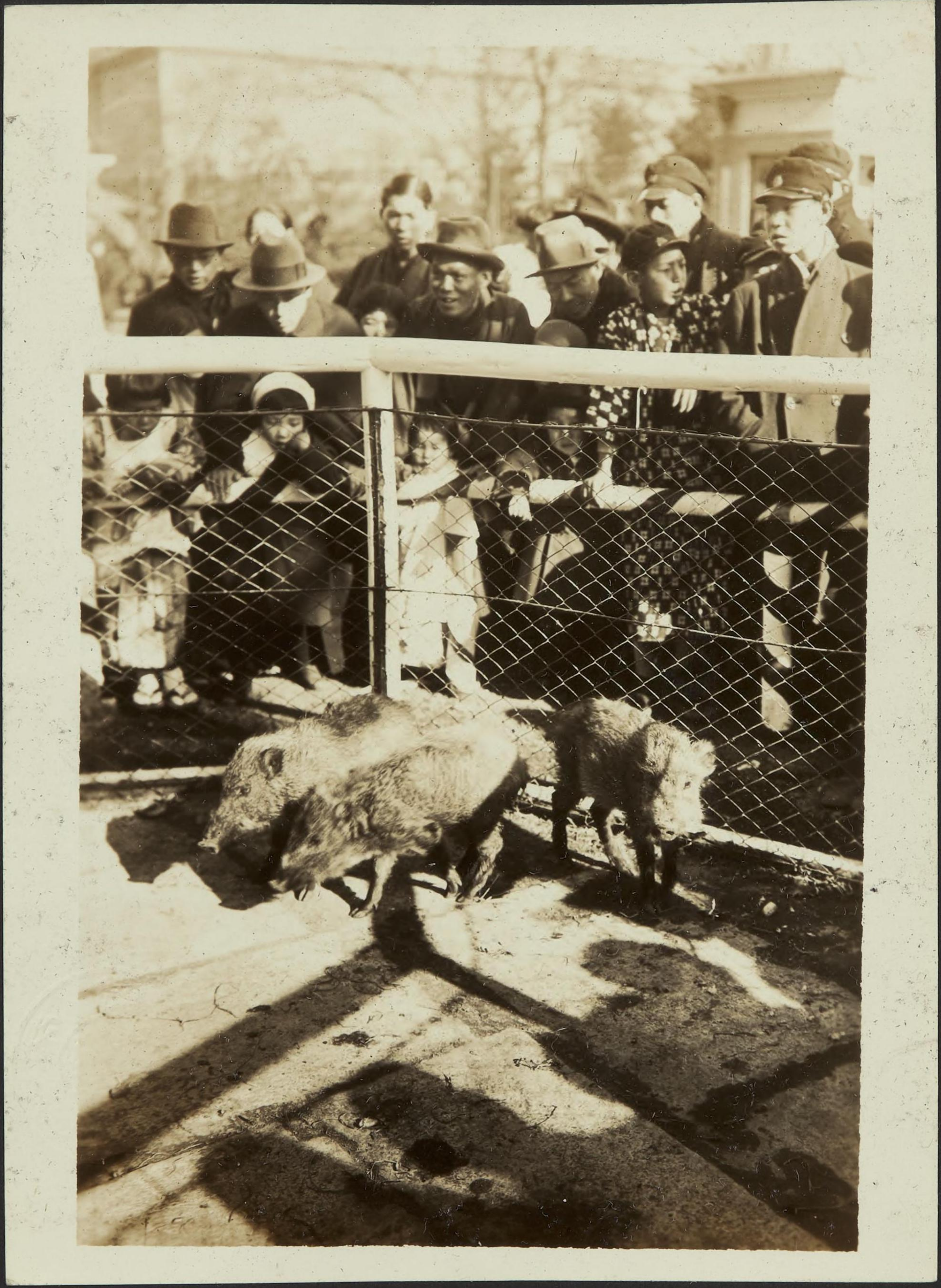
廿五週年紀念大興行
東家三樂
東家鶴燕
林伯猿
藤野秀夫
加島屋
東京新川
天の王国
KOKU

新聞聯合　スケッチ寫眞ニュース

◎おらが春

（東京）十年一月三日

上野動物園で人氣者の子猪



新聞聯合　海外寫眞ニユース　第一號

◎ゴルフに興じつつ三國代表等が
軍縮豫備交渉會談

（ロンドン十二月十五日發）今回の日本の米國政府に對し華府條約廢棄通告によりロンドンに於ける軍縮豫備會議再開は全く絶望となりつつあるが去月十四日の打合せにより松平代表デヴイス及びスタンドレー兩米國代表、イギリス外相サイモン氏は十五日午前九時相携へてロンドン出發ウオルトン・ヒースのゴルフ場に向ひ四代表打連れて雨中をゴルフ試合に興じつつ重大岐路に立つにいたつた當時の豫備交渉問題について打解けたる懇談をなした、寫眞は（雨中傘下の左よりサイモン氏、ノーマンデビス氏、スタンドレ提督、松平大使（二）サイモン氏の打電を見守る日米代表(1)松平日本代表(2)ノーマンデビス氏(3)スタンドレ提督）

3
2
1

（キネん座集ニュース　二号）

果（東京）一月二日.

一九三五年の初荷し

東京神田川
佐治商店

新聞聯合　寫眞ニュース　第一號

◎けふ元始祭

（東京）十年一月三日

宮中三日の元始祭は午前十時から宮中賢所、皇靈殿、神殿の三殿において嚴かに行はせられ皇族方を始め岡田首相以下文武官參列、天皇陛下の御代拜を三條掌典長、皇后陛下の御代拜を津輕女官が御勤め申上げついで皇族方御拜禮、諸員の拜禮あつて御祭典を終へさせられた

寫眞は參內する岡田首相

新聞聯合　寫眞ニュース　第一號

◎大体の骨組みは出來てゐる

ー木村日蘭會商顧問歸るー

（東京）十年一月四日

誠意と根氣の七ヶ月をよく奮闘して日蘭會商を危く決裂から救つた長岡代表をはじめ帝國代表部一行は少數の事務官を殘して報告のため一旦引きあげる事に決定したが代表顧問としてバタヴイアにあつた前全權公使木村鋭市氏は一行より一足先きに四日午前八時東京驛着列車で神戸迄出迎への來栖外務通商局長、小寺日蘭會商特別委員を同伴歸京した

寫眞は

一、東京驛ホームで（後方出迎へのきよ子夫人）

新聞聯合寫眞ニュース　第二號

◎聊か物足らぬ各市場初立會

（東京）十年一月四日

株式、期米、綿糸、人絹の各市場は恒例に依つて四日午前九時から本年初頭の取引を開始したが株式短期新東百三十八圓台を崩れ日産は九十八圓台の安値をつけ目前に買換へを控へた期米も軟調に終り初取引にしては聊か物足らぬ感があつた

寫眞は

東株の初立會

新聞聯合　寫眞ニュース　第二號

◎梅の春

新聞聯合　寫眞ニユース　第一號

◎本居氏半歳の精進

─御製御歌百曲集完成─

（東京）十年一月五日

作曲家本居長豫氏が畢生の努力を傾注してゐた明治大帝、昭憲皇太后の「御製御歌百曲集」は七ケ月を要して目出度く完成、來る十日午前十時明治神宮神前に嚴かな「完成奉告式」を擧げることとなつた、二月には「天地人」の三卷として出版、三月には第一回公開演奏會の開催と云ふまでに進行、關係者何れも新春を壽いでゐる

寫眞は

一、百曲集完成の本居氏

新聞聯合　寫眞ニユース　第一號

◎昭和十年の非常時出初め式

（東京）十年一月六日

初春年中行事の一つ消防出初め式は一月六日午前十時より二重橋前廣場で梨本宮殿下御台臨のもとに擧行されたが今年は吉例の梯子乘り、模擬火災もなく全く淋しい式であつた

寫眞は

一、宮城前廣場の出初め式

新聞聯合　寫眞ニュース　第二一四號

◎春場所大相撲番付發表

（東京）十年一月六日

春場所新番付は六日朝發表された前場所九勝二敗の勵綱玉錦は依然動かず、清水川が東へ廻り九勝二敗だつた武藏山が西へ廻され五勝六敗の不成績だつた男女の川が張出大關となつてゐる、躍組では新關脇の綾川、新小結の双葉山を始め番神山、富の山、玉の海、出羽湊、大八洲等があり十兩では二十一枚飛躍した青葉山、十七枚飛躍した鯱の里等がある、新入幕は出羽湊、富の山、大八洲、玉の海の四力士、新十兩は富士ケ嶽、鯱の里、源氏山青葉山、國光の五力士である

寫眞は

一、新小結の双葉山關（二、躍進組（一、綾川二、双葉山三、出羽湊四、富の山五、大八洲六、玉の海七、鯱の里八、青葉山）

新聞聯合　寫眞ニユース　第一號

◎北白川姫宮御歸嫁

—めでたく東園基文子に

（東京）十年一月七日　新春七日の御吉日、かねて御婚約中であつた北白川宮永久王殿下御妹宮佐和子女王殿下（御廿三歳）と子爵東園基文氏（廿五歳）との「御婚儀は初春の空和やかなうちに大井林町二四八の子爵邸にて晴やかに執り行はせられた、殿下には午前十時三十分女王旗を先頭に公式鹵簿で御住みなれの高輪の宮邸を御出門、十時五十分東園子邸に御到着御少憩の後大禮服の新郎東園基文子と共に御座に御着小笠原流の古式に則つて嚴かに三々九度の御杯事ありめでたく千代の契りを交はさせられた

寫眞は

一、おめでたき新郎新婦

新聞聯合　寫眞ニュース　第二號

◎菱刈凱旋將軍一行晴れの參內奏上

（東京）十年一月七日

前關東軍司令官菱刈大將は七日午前十時十分東京驛着晴れの凱旋をした、この日畏くも天皇陛下には中島侍從武官を東京驛頭に差遣はされたが光榮に感激した菱刈將軍は今岡副官を從へて宮內省差廻しの馬車におさまり前關東軍參謀副長岡村少將は次ぎの馬車にて續き前後には近衞騎兵一ケ小隊が儀仗、沿道市民の歡呼に答へつゝ堂々二重橋正門から參內かくて天皇陛下には陸軍御通常禮裝を召され鈴木侍從長、本庄武官長等を從へさせられて午前十一時表御座所に出御、閑院參謀總長宮殿下、林陸相侍立の上菱刈大將に拜謁仰付られた

寫眞は

一、入京の菱刈大將（[illegible]、[illegible]）

新聞聯合社寫眞ニュース　第二號

◎成城の校歌に送られ
長岡初代總長赴任

（東京）十年一月八日

初代の關東局總長長岡隆一郎氏が八日午前九時東京驛發超特急燕號の展望車のデッキにその圓く巨きい身體を黑のソフトに包んでニコニコと立つてゐる、ホームに身動きならぬ程の見送り人のかたまり、その中に昨日凱旋した許りの菱刈大將の顏も見える、內田鐵相後藤內相湯淺宮相の顏も並ぶ、大任を帶びて赴任する人の鹿島立ちを祝福するにふさはしい情景だ、長岡氏の關係する成城學園の生徒や卒業生はさつきから旺んに校歌のコーラスが出發景氣を煽つてゐる、ものの五六百人もゐるその人混に卯江夫人が感激にうるんだ瞳をあげてデッキの長岡氏を見上げたまま動かない

寫眞は
「赴任の長岡總長

つばめ

新聞聯合　寫眞ニュース　第三號

◎照宮樣御歸還

（東京）十年一月八日

葉山御用邸附屬邸に御滯在中の照宮樣には御風氣も全く御恢復遊ばされたので八日午前十時十九分逗子驛御發車、同十一時十八分東京驛御着、吳竹寮に御歸還遊ばされた

寫眞は

一、御歸京の照宮樣

新聞聯合海外寫眞ニュース　一月九日

◎けふは犬の洗濯日和

（マイアミ）發聯合

これはリンチ（私刑）事件ではありません。米國マイアミのアイリーン・ストーヴアさんがけふの好きお天氣にこれは犬のお洗濯日和と許り、ゴシ々々チヤブ々々、流石のボストン・ブルもこのヤンチヤお孃さんに掛つちやアー

寫眞は

一、犬のお洗濯

新聞聯合寫眞ニュース　第一號

◎兩陛下葉山に行幸啓

―皇太子殿下兩内親王様も―

（東京）十年一月九日

天皇陛下には御風氣全く御快復遊ばされ、天機麗はしく渉らせ給ふが、嚴寒の折柄當分葉山御用邸に御靜養あらせられるため九日皇后陛下御同伴皇太子殿下並に孝宮、順宮兩内親王殿下と御揃ひにて同御用邸に行幸あらせられた、この日天皇陛下には陸軍御通常禮裝を召され、鈴木侍從長御陪乘、德大寺侍從御劍を、久松侍從御璽を捧じ皇后陛下には御洋裝また皇太子殿下は伊地知御養育掛が御抱き參らせ御同列の略式自動車御鹵簿にて午前十時半宮城御出門、諸員奉送裡に午前十時四十分御發車あらせられた

寫眞は

2
2

新聞聯合寫眞ニユース第二號

◎東北振興會初總會

（東京）十年一月十日

東北振興調査會第一回總會は十日午前十時十五分より永田町首相官邸に於て開會、岡田會長始め後藤、山崎兩副會長、吉田書記官長以下各委員二十七名臨時委員半井宮城、伊藤福島、石黒岩手、小林青森、金森山形、武部秋田各縣知事、横溝幹事以下各幹事等出席、劈頭岡田會長より一場の挨拶を述べたる後審議順序及び規則を決定した後諮問第一號を附議吉田委員より詳細に説明の後東北六縣知事より東北凶作災害の實情につき縷々説明をなし之に對し二、三委員との間に質問應答がありたる後正午散會、直に岡田首相招待の午餐に臨んだ

寫眞は

一、首相の挨拶

新聞聯合　寫眞ニュース　第四號

◎林陸相糧秣廠視察

(東京)十年一月十日

林陸相は十日午前十一時省内各局長を帶同、深川糧秣本廠に到り新に研究された糧秣並に製造狀態につき視察した

寫眞は

一、視察の林陸相

飯櫃車

新聞聯合寫眞ニユース　第三號

◎臧民政相歷訪

（東京）十年一月十一日

十日入京した滿洲國民政部大臣臧式毅氏は清水總務司長外一名を伴ひ十一日午前九時半岡田首相訪問の後陸軍、海軍、拓務各省を歷訪來朝の挨拶をなし、更に同十時半參謀本部を訪問、閑院參謀總長宮殿下より謁見を賜はり午后は對滿事務局、教育總監部等視察した

寫眞は

一、陸相と會見の臧氏

新聞聯合　寫眞ニュース　第四號

◎富士見小學校の
兒玉拓相就任祝賀會

（東京）十年一月十一日麴町富士見小學校及び同校同窓會では十一日午后二時から同校出身の兒玉拓相就任祝賀會を開催した、數十年前の同窓生、何れも白髪を交へた人や兒玉拓相の如く光頭輝くものなど數名、其他教員兒童など校庭を埋め、校長、同窓生等の祝辭に對し兒玉拓相は諧謔交りの謝辭を述べ萬歳三唱の後散會した

寫眞は
一、中央兒玉拓相

新聞聯合寫眞ニユース　第二號

◎吉例大內山消防出初式

（東京）十年一月十二日

宮內省皇宮警察部では新年の吉例に依り新春十二日午前十時から宮城內主馬寮廣場で消防出初式を擧行した、十時消防手、同喞係員等參集、自動車ポンプも整列の上白井部長及大谷宮內次官の訓辭があつて放水演習、梯子乘り、交通演習等の演技が行はれ十一時四十分頃芽出度く終了した

寫眞は

一、梯子乘り

新聞聯合　寫眞ニュース　第三號

◎青年學校案諮詢の文政審議會

（東京）十年一月十二日

青年學校案を諮詢された文政審議會は十二日午前十時から永田町首相官邸に於て開かれ岡田、阪谷正副總裁以下各委員及幹事、松田文相、添田、三邊兩次官、山桝參事官、河原社會、菊地實業等各局長並關係官出席、先づ岡田總裁から一場の挨拶あつて松田文相諮詢案の大綱を說明し更らに三邊次官之れを補足、詳細に亘る說明を加へたる後ち各委員と文部當局との間に質問應答を重ね九名乃至十一名の特別委員を擧げ更らに愼重審議を續行する事になつた

寫眞は

一、首相の挨拶

新聞聯合寫眞　第二號

◎講道館鏡開式

＝昇段者五一九〇名

（東京）十年一月十三日

講道館の年中行事鏡開式は十三日午前九時より小石川區小石川町道場に擧行。女子部有段者の型亂取及男子部青少年組の無段者を始め指南役八段三船久藏氏の亂取稽古及高段者の各型の實演あり終つて此日吉例に依つて昇段したる有段者の給仕役で一同汁粉に舌鼓を打つたが來賓中には谷口大將。早川消防部長等の顔も見えた

寫眞は女子部有段者の亂取

講道館

新聞聯合・寫眞・第三號

◎李王殿下

台灣御視察に御出發

（東京）十一年十一月十三日
陸軍教育總監部御勤務陸軍歩兵中佐李王殿下には台灣に於ける軍情民情其他各種施設御視察のため篠田李王職長官、梓村、金兩御附武官等を從へさせられ十三日午前九時東京驛御發御渡台の途に就かせられた、十三日は大阪甲子園ホテルに御一泊、十四日正午神戸解纜の大和丸にて十七日基隆御入港、之れより十五日間に亘り台北、台中、台南、馬公等各地を御巡視、十二月一日基隆御出港同六日三週間振りに御歸京あらせられる筈
寫眞は
東京驛にて謹寫

新聞聯合　海外寫眞ニュース　一月十四日

◎音樂競技會を控へて

〈カノガ・パーク加州〉發聯合　南加州の各女學校の共同年中行事として有名な女學校音樂競技會を控へ女子ラッパ隊といふ寫眞のやうな至極朗らかな音樂隊を組織して猛練習中の當地カノガ・パーク・ハイスクールの女學生徒

〈エバーグレーデス・フロリダ州〉發聯合
フロリダ州マイアミ市近郊の當地は「鴨の國」の稱ある程であるが特に禁獵區になつてゐるため冬季當地に集まる鴨はざつと寫眞の様な有様です

新聞聯合　寫眞ニユース　第一號

◎東寺より御衣奉還

東京十年一月十五日

京都東寺では去る八日より天皇陛下の御安泰を御祈念のため勅命に依り灌頂院道場に於いて御衣を御修法申上げて居たが十四日滿願となつたので嚴修に奉仕した眞言宗長者大和長谷寺化主小林正徳大僧正は御衣を捧持して十五日午前八時東京驛着隨員に衞られつつ列を整へて坂下門より直らに參內午前九時半宮中南溜間に於て宮相代理大谷宮內次官を經て恭々しく御衣を奉還十時過ぎ宮城を退下した

寫眞は

〃東京驛にて

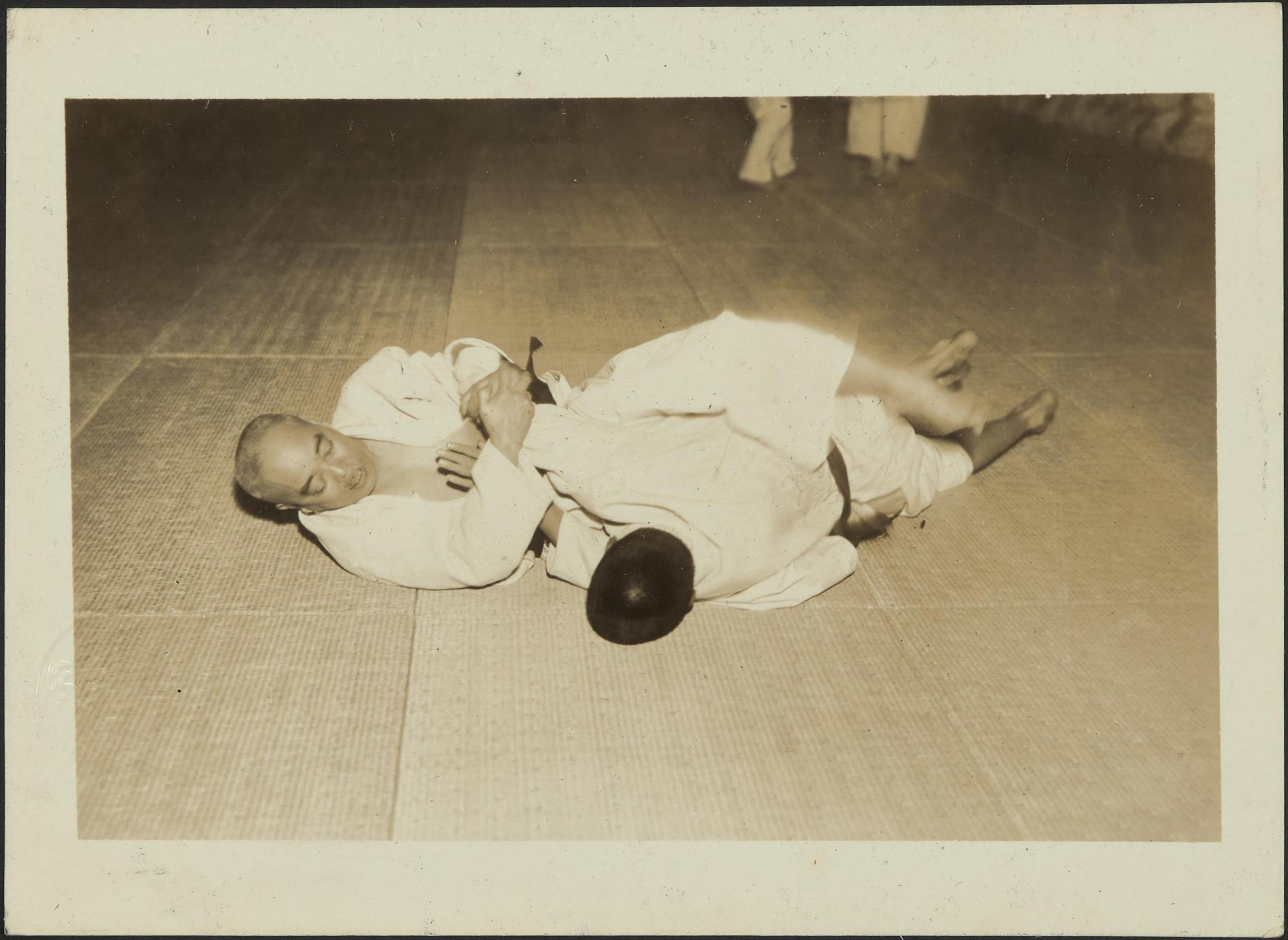
御衣

◎天晴れ内田鐵相
母校で柔道の教授

（東京）十年一月十五日

一橋高商在學中は柔道部の主將、武德會五段の肩書を持つ内田鐵相昨年の暮母校麻布中學訪問の際千餘名の生徒を前に「柔道なら今でも君達には負けんぞ、だから本校の柔道教師は今でも引受けよう」と後輩に活を入れるつもりで云ひ出したところ清水校長から「本當にやりに來て下さい」と云ふ話が纏り肩書も「柔道部名譽教授」と嚴めしくいよいよ十五日午后二時半同校に乘り込んだ、まづ講堂で一席訓示を與へた後稽古着姿甲斐々々しく道場に現はれると黒帶組十人の中の一人がやつと飛び掛る揉合ふ數合、次ぎは五級程度のがムンズと摑みつく、流石の内田五段も滿身汗みづく「何アに數回稽古すればなんでもないンだ」と吐く息もハアハアと大きく彈む

寫眞は　一、内田五段の稽古振り



新聞聯合　寫眞ニュース第一號

◎首相の臧氏歡迎午餐會

（東京）十年一月十六日

岡田首相は十六日正午來朝中の滿洲國民政部大臣臧式毅氏並に清水總務司長、王土木司長を主賓として首相官邸に歡迎午餐會を開催、陪賓として丁駐日公使、主人側より各閣僚及び吉田書記官長、金森法制局長官等列席、首相の懇篤なる挨拶に對し臧氏の鄭重な謝辭があり種々歡談を交へ午后一時半散會した

寫眞は

一、首相官邸にて

新聞聯合寫眞ニュース　第二號

◎米國自慢の哨戒爆撃飛行艇
—二千哩無着陸飛行の壯途
につく

「ノーフオーク（マサチユーセツツ州）十五
日發聯合」—
米國海軍最大の飛行艇ホール・XP2H・I
哨戒爆撃飛行艇は十五日午后三時三十分ノー
フオーク港を出發パナマ運河入口のココ・ソ
に向け千九百四十哩無着長距離飛行の壯途
に上つた、明十六日中には目的地に到着する
豫定である
因みにホール・XP2H・I型哨戒飛行艇
はホール・アルミニウム飛行會社の製作金
金屬複葉で六百馬力カーチス「コンカラー」
エンヂン四機を具へガソリン積載量四千六
百ガロン、幅百十一呎、長さ六十四呎六吋
に及ぶ巨艇で最高速四十哩に及ぶ逸物であ
る
寫眞は
一、巨人飛行艇

新聞聯合　海外寫眞ニユース　一月十七日

◎飛行機記念日の祝賀飛行

（サン・デエゴ）發聯合

三十一年前の一九〇三年十二月十七日、アメリカ人ライト氏兄弟に依つて始めて「飛行」が完成されたのを記念して同日アメリカ海空軍の當地根據地部隊二百餘機に依て盛大な祝賀大編隊飛行が行はれた

寫眞は

加州サン・デエゴ市上空を飛ぶ海軍偵察機の大編隊飛行

新聞聯合　寫眞ニュース　第二號

◎首相、兩黨首招待

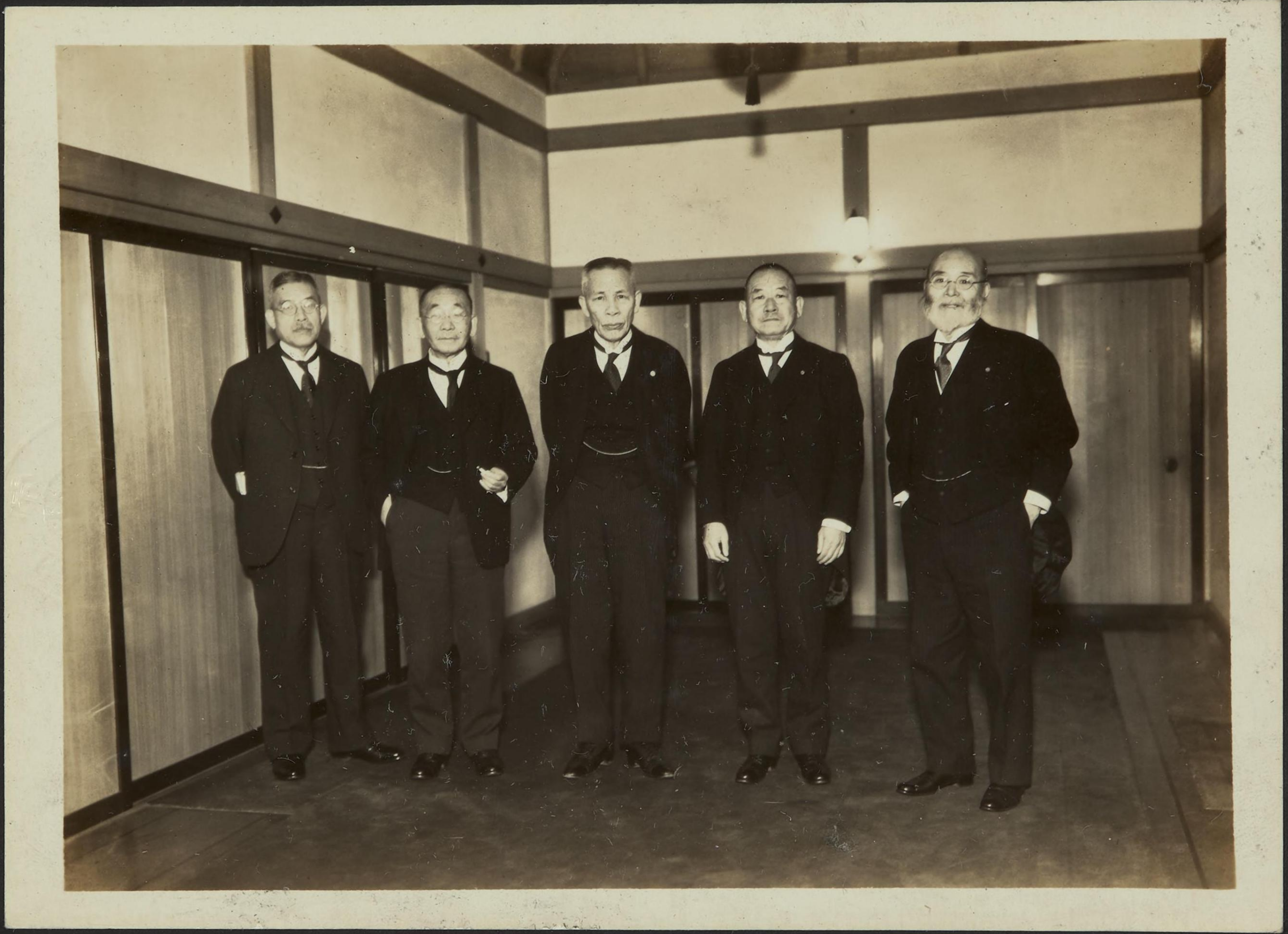
ー議會援助を要請ー

（東京）十年一月十七日

岡田首相は十七日正午首相官邸に町田民政黨總務會長及び安達國同總裁の來邸を求め、政府側より床次、高橋兩相も加はり來る議會の援助方を要請すると共に種々意見の交換を行つた

寫眞は

一、（向つて左から）床次遞相、町田會長、安達總裁、岡田首相、高橋藏相



新聞聯合　寫眞ニュース　第一號

◎畏し皇太后宮の御仁慈

―癩療養所長等を御召―

（東京）十年一月十八日

皇太后陛下には氣の毒な癩患者に御同情を寄せられ又癩根絶の畏き思召から去る昭和五年以來十ヶ年繼續で癩療養所に對し御日常御節約の御内帑金を賜はり、先には「癩患者を慰めて」といふ有難き御歌を賜はつたが、たまたま目下癩療養所長會議開會中の趣聞し召され十八日午前十一時會同の所長達を大宮御所に召され十一時廿分謁見所に於て皇太后陛下に順次單獨拜謁を賜はり各療養所の實情について夫々言上し有難き御慰勞の御言葉を賜はり、終つて別室に於て午餐を賜はり一同は感激しつゝ午后一時頃退下した

寫眞は

光榮の一行

新聞聯合　寫眞ニュース　第三號

◎惚れた日本に名殘りを惜しみ
―近く去る墨國公使の一家

新聞聯合　寫眞ニユース　第三號

◎惚れた日本に名殘りを惜しみ
―近く去る墨國公使の一家

（東京）十年一月十八日
在任五年半、一家揃つて大の親日家として非常な親しみを持たれてゐた駐日メキシコ公使ロメロ氏が今度南米パラグワイ、ボリビイア紛爭調停委員兼兩國兼任公使の重職に榮轉して二月十四日横濱出帆の郵船秩父丸で歸國することになつた、在任中各方面を旅行して苦心の末蒐集された日本畫、陶器、漆器、根付その他日本美術骨董品等が百梱餘、宛然少博物館の引越ぐらいもある荷物も既に發送濟み藤間勸素娥さんこと高橋藏相の愛孫元子（二二）さんの愛弟子で日本舞踊の名取り藤間三井子こと公使の長女カルメンさん（一六）長男でチエロをよくするミゲル君（一五）二女のマリア・アントニエタさん（一〇）はバイ

寫眞ニユース　第三號ノ二

オリンが上手で舊臘帝國ホテルで催された國際子供オーケストラにもバイオリンを彈いたが三味線も却々達者でチントンチャンと口三味線が遊戯の間々に出るらしい。三女のマリ

在住五年牛・一家揃つて大の親日家として非常な親しみを持たれてゐた駐日メキシコ公使ロメロ氏が今度南米パラグワイ、ボリビイア紛争調停委員兼兩國兼任公使の重職に榮轉して二月十四日横濱出帆の郵船秩父丸で歸國することになつた、在任中各方面を旅行して苦心の末蒐集された日本畫、陶器、漆器、根付その他日本美術骨董品等が百梱餘、宛然少博物館の引越ぐらいもある荷物も既に發送濟み藤間勘素娥さんこと高橋藏相の愛孫元子（二二）さんの愛弟子で日本舞踊の名取り藤間三井子ことと公使の長女カルメンさん（一六）長男でチエロをよくするミゲル君（一五）二女のマリア・アントニエタさん（一〇）はバイ

寫眞ニユース　第三號ノ二

オリンが上手で舊帝國ホテルで催された國際子供オーケストラにもバイオリンを彈いたが三味線も却々達者でチントンチヤンと口三味線が遊戯の間々に出るらしい、三女のマリア・ルイザさん（九）と二男のウンベルト君（六）は二人ともピアノでテンマルク領事ハンセン夫人について一心に勉強中。末つ子のレヒナさん（四）はロメロ公使御自慢の「エドツコ」でハンセス夫人からピアノを教はりお姉様のカルメンさんと一諸に勘素娥お師匠について可愛らしい舞踊のお稽古をはじめたばかり、御兩親の口まねをして「エドコ」エドコ」とはしやいでゐる樣は喰ひつき度い位可愛い」

寫眞は

一、ロメロ公使一家の團欒

新聞聯合　寫眞ニユース　第一號

◎首相の三黨首招待會

（東京）十年一月十九日

岡田首相の第二回各黨首招待午餐會は豫定の如く十九日午前十一時半より首相官邸日本間に於て開催された。安達國同鈴木政友會町田民政黨の三黨總裁及び岡田首相並びに介添役として高橋藏相、床次遞相の兩長老出席した

寫眞は

一、（向つて左より）安達、鈴木、岡田、高橋、町田、床次の諸氏

新聞聯合　寫眞ニュース　第三號

◎外交の根本的調整に外務參議會

―十九日外相官邸に開く―

（東京）十年一月十九日廣田外相の提唱により三五六年外交非常時對策方針調整のため招集された外務參議會第一回會合は愈々十九日午前十一時半三年町外務大臣官邸に於いて開催、初の會合の事とて廣田外相初め在京各大公使の意氣込も眞摯に廣田外相、重光次官以下各局部長の現幹部、參議會議員出淵（前米）大使に續いて松田（元伊）長岡（前佛）永井（前獨）林（前伯）太田（現ソ）松島（前伊）各大使、川島（前ギリシヤ）森（前チリ）笠間（現ポルトガル）各公使出席、種々質疑應答の後午餐を共にして散會した

寫眞は

一、外相官邸にて

新聞聯合　寫眞ニュース　第二號

◎洋行する鐵相のスカール

（東京）十年一月二十日

外務省情報部のトーキーニュースでは海外に日本のスポーツ大臣を紹介する爲廿日午前十一時半から尾久の東京ローリングクラブで內田鐵相自慢のスカール姿をトーキーに納めた七八年〝年期を入れたといふだけあつて〟スイスイと水をきるツアの冴えも鮮やかなもの三回カメラに納まつて唇をむらさきにして陸に上つた

寫眞は

トーキーにをさまる內田さん

新聞聯合　寫眞ニユース　第四號

◎五代目の銅像お化粧
―音羽屋一門で供養

（東京）十年一月廿日

名人五代目菊五郎が死んで三十三年、この三月には歌舞伎座でその追遠興行が行はれるが深川不動尊境内にある五代目の銅像が震災で破損されたままになつてゐたので今度音羽屋一門ですつかり修理し廿日正午菊五郎、彦三郎を始め親戚一同が集つて盛大な供養を行つた

寫眞は

「供養式場

新聞聯合　寫眞ニュース　第二號

◎對滿事務局參與、事務官初會議

（東京）十年一月廿一日

對滿事務局參與並に事務官の初會議は廿一日午前十一時廿分より永田町首相官邸に於て開會、岡田首相、林對滿事務局總裁、川越次長樋貝法制局部長外十七名事務官、横溝内閣書記官外九名全部出席、先づ岡田首相、林總裁より「各員協力して對滿國策遂行のために一層の努力をされたい」旨の訓示あり、次で今後の會議形式等を決定した後議會に於ける對滿關係の質問に對する答辯についても打合せをなし同五十分散會、一同は岡田首相招待の午餐會に臨んだ

寫眞は

一、初會議

新聞聯合　寫眞ニュース　第三號

◎藏大臣高橋藏相訪問
約五十分に亘り懇談

（東京）十年一月廿一日
滿洲國民政部大臣臧式毅氏は廿一日午前十時藏相官邸に高橋藏相を訪問、臧大臣は老藏相に對し一入懷しげに更めて日本朝野財界の滿洲國援助に深く感謝の挨拶を述べたる後約五十分に亘り日滿經濟統制問題其他刻下の日滿關係諸問題について隔意なき意見の交換を遂げた結果兩者の諒解を深め同十時五十分臧大臣は辭去した

寫眞は
一、藏相官邸にて

新聞聯合　寫眞ニュース　第三號

◎菱刈岡村兩將軍御陪食

（東京）十年一月廿二日
天皇陛下には去る七日凱旋の上軍状奏上の菱刈前關東軍司令官、岡村同參謀副長に對し御慰勞の思召から二十二日正午宮中豐明殿に於いて御陪食仰付らるる旨御沙汰あり兩將軍は午前十一時半東御車寄より參内した

寫眞は

一、參內の兩將軍

新聞聯合　寫眞ニュース　第四號

◎第六十七議會幕開き
第一日より白熱戰展開

（東京）十年一月廿二日

爆彈動議をめぐつて大爆發が不發に終るか兎に角一嵐なくてはすまないであらうと豫想される第六十七帝國議會は愈々廿二日を以て再開され昭和十年非常時日本の政戰の幕は切つて落された、この日貴族院は十時十五分開會、岡田首相の施政方針演說に次いで廣田外相の外交演說があり坂本俊篤男を質問第一陣に送り第二陣には加藤政之助氏起ち午后に至つて舞臺は衆議院に移り首相、外相、藏相の演說の後を承け政友會の鬪將島田俊雄君登壇質問戰の火蓋を切り續いて大口喜六君、民政黨を代表して元商相櫻內幸雄氏が起ち一般施政方針に對して鋭鋒を向け第一日早くも白熱的論戰を展開した

寫眞は

一、岡田首相の施政演說
一、廣田外相の外交演說
一、坂本俊篤男（左）……
一、加藤政之助氏（右）……の質問＝以上貴族院
一、高橋藏相の財政演說
一、

新聞聯合　寫眞ニュース　第一號

◎近歩一、二聯隊の軍旗祭

（東京）十年一月廿三日

一年に一回だけ兵隊さんが營門でハメをはずして心から祝ふ軍旗祭、近衞歩兵第一、二聯隊第六十二回軍旗拜受記念祝典は廿三日午前十一時から開始、朝香師團長宮殿下にも台臨軍旗を奉迎して分列を行ひ聯隊歌を合唱して式典を終り余興に移つた、この頃から一般市民は鐵兜の子供、老人等の手を引いて來營しさしもの營内も人の波をうつ賑はしさ、午后一時から同三時迄藝自慢の兵隊さんが腕によりをかけての余興は珍藝百出で肚の皮をよぢらせた、午后三時軍旗を奉送、同三十分盛大に祝典を終つた

寫眞は

一、近歩の軍旗祭

新聞聯合寫眞ニユース　第二號

◎臧民政部大臣離京

〔東京〕十年一月廿三日

我が國朝野の人々との會談及視察のため去る一月十日入京した滿洲國民政部大臣臧式毅氏はその滯京日程を終つたので廿三日午前九時菱刈大將、山岡万之助氏芳澤謙吉氏、丁士源公使を始め官民多數の見送り裡に東京驛發燕號で退京名古屋に向つた、尚同氏は名古屋より京都、伊勢、大阪、奈良、神戸、廣島の各都市を訪問、二月三日下關發うらる丸で歸國の豫定である

寫眞は

一、離京の臧民政相

つばめ

新聞聯合　寫眞ニユース　第一號

◎湊川公園に楠公銅像

（東京）十年一月廿四日

神戸湊川神社の楠公戰歿六百年記念大祭典は來る五月二十三日より盛大に行はれるが國民精神作興のため之を期として湊川公園に一大銅像を建立することとなりその製作を齋藤素巖氏に委囑、氏は昨年十月より製作この程完成して目下日暮里の鑄銅所で鑄込み中であるが來る四月一杯に完成、五月二十三日除幕式を擧行する、銅像は獅子奮迅の勢を以て第一線に臨む楠公を示し高さ一丈三尺、臺石一丈七尺の大作である

寫眞は

一、楠公銅像と作者齋藤素巖